

# 全国健康保険協会の健康保険業務・システムの最適化について

## 【現状と課題】

### ■現状

・健康保険の業務については、社会保険オンラインシステムを利用して、厚生年金の業務と一体的に処理。(レセプト業務については、社会保険オンラインシステムとは別に、レセプト情報管理システムとして構築。)

### ■課題

#### \* 業務の効率性・合理化

・システム化による効率化が可能な業務がある  
 ・資格データ等の業務間のデータ突合に時間と手間を要している 等

#### \* 被保険者サービス

・現金給付の支払いまでに時間を要している  
 ・情報提供機能が十分でない 等

#### \* 保険者機能

・医療費等のデータ分析が困難 等

#### \* システム基盤

・メインフレームを中心に構成  
 ・独自開発したシステムであるため、制度改正に伴う改良のコストが高い  
 ・各システムが独立して構築されており、データの連動が困難

### 基本理念

- ①業務の効率化・合理化
- ②被保険者サービスの向上
- ③保険者機能の強化
- ④安全性・信頼性の確保
- ⑤経費削減

- ・医療制度改革への対応
- ・社会保険庁改革の推進
- ・IT新改革戦略の推進

※平成18年度公法人システム  
 関係予算：13.5億円  
 ※社会保険業務の業務・システム  
 最適化計画改定(平成18年10月  
 31日)

## 【最適化の実施内容】

### ○ 業務の効率化・合理化の推進

・各種業務処理のシステム化の推進  
 ・データの統合管理、業務間の連動性の確保  
 ・業務処理の標準化・統一化 等

### ○ 被保険者サービスの向上

・現金給付に係る支払期間の短縮化  
 ・任意継続被保険者の保険料の口座振替の導入  
 ・インターネットを活用した情報提供の推進 等

### ○ 保険者機能の強化

・健診・健診データ記録等の義務化への対応(社会保険健康事業財団の健診システムを最大限活用)  
 ・医療費分析等のデータ分析機能の充実 等

### ○ 費用対効果に優れた拡張性の高いシステム基盤の実現

・汎用パッケージソフトウェアの活用  
 ・システムのオープン化  
 ・サーバーの集中化 等

### ○ 社会保険オンラインシステムとの適切な連携の確保

・適切なインターフェースの確保

### ○ オンラインの利用促進

・電子申請の利用促進  
 ・レセプトのオンライン化への対応

### ○ 安全性・信頼性の確保

・個人情報保護、セキュリティ対策、災害・障害対策の推進

### ○ 調達施策

・一般競争入札、オープンなソフトウェアの採用、著作権等の所有権の取得 等